

2013-14 年度 R I テーマ



入間ロータリークラブ



Weekly Report

2013-2014 R I 会長：ロン D. パートン
 R I 第 2570 地区ガバナー：中井 眞一郎
 会長：友野 政彦 幹事：西山 祐三
 例会日：木曜日 12：30～13：30
 例会場：丸広百貨店入間店 6 F バンケット・ホール
 Tel.04-2963-1111

会報委員長：関谷 永久 当番：
 事務所：〒358-0023 入間市扇台 3-3-7 ハイツ斎竹 101 号
 Tel.04-2964-1700 Fax.04-2965-5788
 Email：iruma-rc@jupiter.plala.or.jp

第 23 号 2791 回例会 2013 年 12 月 12 日 (木)

坐 禅 例 会

会長の時間

友野政彦会長

本日は長徳寺にお招きいただきまして有難う御座います。後ほど馬路会員による法話をお聞きし、座禅を体験させていただきます。しかし残念なことに私は、日曜日に所沢シティーマラソンに出場しアップダウンの激しいコースを自己ベストに近いタイムで完走したのですが、元々痛めていた左膝を悪化させてしまい、座禅が組めない状態です。どうかご了承下さい。

皆様はガバナー月信をもうお読みになりましたでしょうか。主として地区大会の報告ですが、「希望の風講演会」の記事が掲載されていました。本庄ロータリークラブが東京国際大学在学中の山根りんさんという、ロータリー希望の風奨学生を地元の中学校に招いて講演会を行った報告でした。山根さんは宮古市出身で、高校の帰り道にお母様とともに津波に合い、そのお母様を亡くしています。その後一度は進学を諦めたのですがロータリー希望の風奨学金制度を知り大学に進み、将来は NGO 等国際貢献できる仕事に就きたいと頑張っているとの事です。この制度は当地区の西川武重郎ガバナーが同期のガバナーらに呼びかけて立ち上げた制度で、既に 120 人以上の震災遺児が奨学金を受けています。

さて先週はサッカーワールドカップの組み合わせ抽選が行われました。日本はまずまずのグループに入ったと思います。サッカーもそうですが、日本が世界レベルに近づいたと実感できるスポーツの一つが競馬です。今から 32 年前にジャパンカップという国際招待レースが始まりました。当時日本が誇る一流馬が、輸送と検疫というハン

を負った、とても一流とは言えない外国馬に全く敵わなかったのはショックでした。彼我の差を痛感させら

れ、この先日本馬が勝てる日は来るのだろうかと思いましたが、3 年後に当時日本競馬史上最強と言われたシンボリルドルフという無敗の三冠馬が出走し、日本馬初勝利の期待が高まりました。結果ルドルフは 3 着でしたが他の日本馬が初勝利し、翌年はルドルフ自身が勝ちました。以来ジャパンカップにおいては日本馬が勝負できるようになりました。しかし日本馬が海外の G1 レースに勝利するまでには更に 15 年を要しました。今では世界最高峰と言われる凱旋門賞優勝も現実のものとなるほど、日本のサラブレッドの生産と育成のレベルは上がっています。



幹事報告

西山祐三幹事

1. ロータリーレート 1 \$ 100 円

< 出席報告 >

諸井克彦出席委員

会員数	出席数	出席率	前回修正率
39 名	22 名	57.8%	62.2%

事前欠席連絡 16 名

■ 回覧、配布物

- ① 12/26 年越し蕎麦例会出欠席表
- ② 他クラブ週報&例会変更のお知らせ
- ③ 入間おやこ劇場 1/12 ニューイヤーコンサート

★坐禅の前に長徳寺住職の馬路宏樹会員より説法をして頂きました。



この掛け軸は「出山の釈迦」でございまして、お釈迦様が6年間苦行したが心の安らぎが求められなくて苦行を捨てて山から出てこられた図です。

菩提樹の下で坐禅をして12月8日の明の明星を見て悟られたといわれています。修行の道場では今でも12/1から12/8まで坐禅三昧に入ります。曹洞宗の教えの根幹は坐禅にあり、それはお釈迦さまが坐禅の修行に精進され、悟りを開かれたことに由来するものです。禅とは物事の真実の姿、あり方を見極めて、これに正しく対応していく心のはたらきを調えることを指します。そして坐ることによって身体を安定させ、心を集中させることで身・息・心の調和をはかります。坐禅をしているだけが坐禅ではありません。行住坐臥「行」は歩くこと。「住」はとどまること。「坐」は座ること。「臥」は寝ること。日常の全ての立ち居振る舞いで実践していく事が、お釈迦様が教えていただきました事だと思います。



坐禅の足の組み方には両足を組む結跏趺坐(けっかふざ)と片足だけの半跏趺坐(はんかふざ)があり、正座や椅子でも行なえます。手は右手を下にして左手を上にして親指が軽く触れる状態。これを法界定印と言い大宇宙と一体という意味です。



坐禅の前に和やかにお弁当を頂きました。



参加者が座禅に入ると、本当にしーんとして空気が一気になんて変わって、ピンと張り詰める瞬間がありました。心の休息・心の洗濯できましたでしょうか・・・